

# 令和4年度 職員提案及び業務改善報告制度の実施報告

## 1 制度の定義

- (1)アイデア提案 自己の所属する課又は自己の所属する課のみでは実施できない新たな事業の提案
- (2)事務提案 自己の所属する課以外の課が所掌する事務又は事業に関する業務についての改善の提案
- (3)業務改善報告 自己の所属する課が所掌する事務又は事業に関する業務の改善についての報告

## 2 提出状況

単位：件

令和4年度(カッコ内:令和3年度)			
職員提案		業務改善報告	合計
アイデア提案	事務提案		
19(19)	41(28)	333(335)	393(382)

## 3 褒賞対象件数

単位:件

アイデア提案		事務提案		業務改善報告	
1級	1	感謝賞	4	改善1級	1
2級	2			改善2級	1
3級	0			改善3級	1
特別賞	1			改善4級	7
				ピカ⑩イチ賞	10

<令和3年度 褒賞対象件数>

アイデア提案:4件 事務提案:感謝賞4件 業務改善報告(1~4級):10件

## 4 表彰対象案件

### (1)アイデア提案(4件)

#### ◆1級『『ベビーシッターカー』でママ・パパリフレッシュ!』

提案のきっかけ	自分が子育てをして、このようなサービスが必要と感じたことがきっかけ。
提案の概要	<p>①『ベビーシッターカー』として、ワンボックスカー(ハイエース、エブリなど)の後部スペースにおもちゃ、絵本、テレビ設置し、簡易託児所とする。</p> <p>②『ベビーシッターカー』は自由に移動ができ、保育士などが2名で子供を預かる。</p> <p>&lt;利用方法イメージ&gt;</p> <p>ラインなどSNSで『ベビーシッターカー』を予約。自宅などの集合場所で保護者から子供を預かる。</p> <p>&lt;運営&gt;</p> <p>①協賛、クラウドファンディングを募る。 保育カーの車両に企業名を載せる(ラッピング)。企業としてSGDsへの取組となる。</p> <p>②官民連携事業とする。 車両、スタッフ、予約システムなど地元企業と共同で実施することで、雇用確保などにより地域活性化へつなげる。</p> <p>③事業の拡大 まずは1台、少額で実施開始できる。各公民館や協力してもらえる場所に駐車し、そこを簡易的な預かり所にする。お昼休み時間のキッチンカーや移動図書館のようなイメージ。利用者の増加に合わせ事業規模を拡大できる。</p>

## ◆2級「失業、傷病、離婚・・・こんなとき、どうする？」をサポートします！！」

<p>提案の きっかけ</p>	<p>私が所属する保険年金課国民年金担当の窓口では、失業や傷病、離婚等に関連して次の制度を案内しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国民年金保険料免除・納付猶予(失業特例・コロナ特例を含む) ・障害年金 ・離婚時の年金分割 ・年金生活者支援給付金 等</li> </ul> <p>ただし、窓口にて相談がない場合は上記を案内することができません。そのため、事由発生日から時間が経過して制度を適用できなかつたり、適用できる範囲が縮小したりする事例が散見されています。「適用できる制度があることを知らなかった」「どこの窓口にて相談すべきかわからなかった」「(制度を適用していたら)生活保護を受給せず生計を維持できたかもしれない」という市民の声も少なくありません。また、他課に関連する制度をすべて把握することが困難であり、「離婚しましたが、他に何か適用できる制度はありますか」というお問合せに対して、該当の窓口の案内が難しい状況です。</p>
<p>提案の 概要</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 各課にて失業や傷病、離婚等に関連する支援制度を抽出します。ただし、市民によるお手続きが不要のものを除きます。</li> <li>2 該当のある課をサポート窓口として設定します。</li> <li>3 各サポート窓口にて案内する支援制度をまとめてパンフレットを作成します。</li> <li>4 広報ひらつかやウェブサイト情報を掲載します。</li> <li>5 各サポート窓口にてパンフレットを配布します。</li> </ol> <p>※関連する支援制度がある場合は、適用可否の確認を含めて該当のサポート窓口を案内します。</p>

## ◆2級「特異日(いい夫婦の日等)にご当地婚姻届を利活用したイベントの開催」

<p>提案の きっかけ</p>	<p>平塚市には、平塚市出身のアーティスト・オノルイーゼさんがデザインした華やかな婚姻届(令和3年1月18日に完成)がありますが、利用が少なく感じました。そこで、なにか利活用できないかと考え始めたことがきっかけです。</p>
<p>提案の 概要</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 日時 特異日 (例)7月7日(七夕)、11月22日(良い夫婦の日)等</li> <li>2 対象者 婚姻届を提出した方(過去の受付件数から20~50組程度を想定)</li> <li>3 内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>当日に婚姻届を提出した方にプレゼントを渡す。プレゼントは次のとおり。</li> <li>【プレゼント①】 愛の南京錠発祥の地にある「湘南平展望レストラン Flat」のデザート or ドリンクサービス券 ※レストランの利益(食事やテイクアウトを注文した方が対象等)となるよう条件をつけ、交渉する予定。配布場所は市民課の窓口。</li> <li>【プレゼント②】 平塚市のステッカー(既存のもの) ※配布場所は湘南平レストハウスで行う想定。 ※鍵かけモニュメント「ainowa」やオノルイーゼ氏作成の壁画で写真を撮り、Instagramに投稿又はストーリーに投稿した方が対象等の条件を付けることを想定。</li> </ul> </li> <li>4 費用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平塚市⇒0円(プレゼントのステッカーは既存の物で対応)</li> <li>・湘南平展望レストラン Flat⇒デザート or ドリンクの費用</li> </ul> </li> <li>5 懸念点 <ul style="list-style-type: none"> <li>・戸籍届事務処理量の増加</li> <li>・湘南平展望レストラン Flat の協力が必須</li> </ul> </li> </ol>

◆特別賞「結果にコミットする施策を展開！～エビデンスベースで健康チャレンジ！フレイル予防～」

<p>提案の きっかけ</p>	<p>以前に従事していた介護保険課介護認定事務で取り扱う要支援・要介護認定情報や総合事業申請事務等と、現在従事している介護予防事業参加者の情報を突合し経年追跡することで、介護予防効果を検証できることに気付きました。</p>
<p>提案の 概要</p>	<p>①保険年金課から介護保険課及び地域包括ケア推進課へ「個人情報の目的外利用申請」、両課から受理通知をもらう。 ②保険年金課がフレイルチェック参加者の結果一覧を作成し、宛名番号を確認、入力する。 ③介護保険課が要支援・要介護認定情報を抽出し保険年金課へ提供する。 ④地域包括ケア推進課が介護予防・日常生活生活支援総合事業対象者一覧を抽出し保険年金課へ提出する。 ⑤保険年金課が上記②③④を宛名番号でデータ突合し、経年で蓄積する。 ⑥「フレイル対策の活性化のための連携協力協定」を締結している東京大学高齢社会総合研究機構に上記⑤の解析を依頼し、報告を受ける。 ⑦上記⑥の内容から平塚市の介護予防効果を周知する媒体を作成し、周知する。</p>

(2)事務提案 感謝賞(4件)

<p>標題</p>	<p>提案の概要</p>
<p>指定金融機関(当番行)交代に伴う通知の統合</p>	<p>(背景) 現在、指定金融機関(当番行)の交代に伴う通知は、会計課から各課に対し、文書管理システムにて計5件送付されている。①当番行の交代、②振込金訂正依頼書の変更、③派出所における公金納付時の帳票記入、④FD 引き渡し票の変更、⑤金種票の変更と、内容が似ているにも関わらず別々に送付されるため、文書管理システムでそれぞれ收受せざるを得ない。また、合計何件の通知を收受することになるのか、各課では予め分からないため、收受した文書をまとめて起案又は供覧しづらい。 (提案内容) 5件の通知文を1件の通知文(仮称「指定金融機関(当番行)の交代に伴う変更点について(通知)」)にまとめる。また、訂正依頼書、組戻依頼書及びFD 引き渡し票の記入例は、1件の通知文に添付して文書管理システムで発送する。</p>
<p>障がい児に係る施設入所情報の取得方法について</p>	<p>障害児福祉手当や平塚市中心身障害者福祉手当など、施設入所に伴い支給停止される手当に関し、障がい福祉課がこども家庭課児童手当・医療担当、又は児童相談所から施設入所児の情報を収集し、手当の支給停止事務に活用すれば、手当の過支給やそれに伴う返還が生じにくくなり、市民サービスの向上や適切な事務処理につながると考える。</p>
<p>新入職員特集号を4月に発行</p>	<p>現在、8月に発行されている新入職員特集号(自己紹介文章)を4月に発行した方が良い。早めに発行することで、庁内でのコミュニケーションの円滑化や連携につながる。また、新人同士でも、顔と名前、配属部署が一致していない時期があるため、新入職員研修の際のコミュニケーションを促進できる。</p>
<p>本人確認書類はマイナンバーカードで！</p>	<p>マイナンバーカードを取得する必要性を喚起するため、行政手続について電話等で問合せがあった場合や、手続きの際に本人確認書類を求める時は、必ずマイナンバーカードの提示を第一に求め、無い場合のみ代替案を提示する。 例)「この手続きには本人確認書類の提示が必要ですが、お客様はマイナンバーカードをお持ちですか？(無い場合)これからの行政手続にはマイナンバーカードが必要不可欠になるため、今後は取得された方が良いと思いますが、無い場合は●●や〇〇等はお持ちでしょうか？」 マイナンバーカードの取得に関心を示した場合は、マイナンバー推進課を案内することで、マイナンバーカードの取得につなげる。</p>

### (3)業務改善報告

#### ◆改善1級

改善課	改善名	概要
健康課	【新型コロナワクチン予約システム】毎週120万円削減×33週◆約4,000万円削減◆	新型コロナワクチンの3回目接種で予約システムの利用にあたり、接種ステータス変更等の作業を業者に委託するのではなく、職員が対応することで約6,000万円の削減ができ、かつ、予約システムへの反映が遅延なくでき円滑な運営につながった。

#### ◆改善2級

改善課	改善名	概要
事業課	ロッカーは無料で設置する時代！さらに広告料で収益アップ効果は合計約1千万円！！	ロッカー広告主を募集し、無償で競輪場に計15台のロッカーを設置できた。さらに、広告掲載料をもらい収入増につながった。また、それまで人件費を要していた「手荷物預かり所」も閉鎖することができ、合計約1,000万円の削減効果があった。

#### ◆改善3級

改善課	改善名	概要
産業振興課	企業版ふるさと納税3,000万円！これまでの実績が認められ、2年連続で累計5,400万円獲得！	2年連続でヤフー(株)から企業版ふるさと納税で寄附を受けることができ、EVのモーターを発電機として使用する実験等が可能になった。また、ヤフー(株)のウェブに平塚市の取組が掲載され広く事業をPRできた。

#### ◆改善4級

改善課	改善名	概要
固定資産税課	【縦覧業務】約10,000枚の紙+約40時間の作業時間を削減！	令和3年度までは縦覧帳簿を作成するのに、紙で帳票を出力し、大字ごとの並べ替え、穴あけやファイリング作業で多くの紙と時間を要していたが、令和4年度からはデジタル推進課と調整し映像面に表示する方法に変更した。これにより、紙約10,000枚と作業時間約40時間の削減につながった。
中央図書館	「図書の準備ができました」のお知らせを葉書からメールに変更。経費節減・事務省略・デジタル化につながりました。	それまで郵送していたお知らせのハガキをメールに変更することで、郵送料や発送準備にかかる作業時間が削減された。また、デジタル化を敬遠する高齢者等へのデジタル化の意識推進にも寄与した。削減した郵送料(約93万円)は図書資料の購入に充当できる。
事業課	早朝当番廃止～もう、早起しなくていいんです～	競輪開催日の早朝当番2名について、業務内容等を見直した結果、最小限の追加費用で既存の委託業者に委託することができた。これにより職員の負担が減り、働き方改革にもなった。

病院総務課	保育料の給与天引きで「三方よし」	院内保育施設の保育料の徴収方法を、「課窓口現金払」又は「納付書払」から、利用者の「給与天引き」に変更した。これにより利用者、所管課及び経理担当課の3者にとっての改善になった。 ・利用者：現金の準備(お釣り不可)が不要、支払いに出向かなくよい ・所管課：収納事務が不要、督促が不要になり心的負担が軽減。事務量3割削減。 ・経理担当課：毎月の滞納有無の管理が不要
デジタル推進課	統合型 GIS に個別 GIS 機能を集約して、経費の大幅な削減！	統合型GISに各課の個別GIS機能を集約することで、市全体のGISにかかる費用の削減ができた。 各課が個別 GIS を構築する場合と比較すると、約 1.18 億円の削減効果があった。
広報課	「平塚市の Instagram を高校生が乗っ取った!？」 ーInstagramテイクオーバーの活用による若年層フォロワーの増加ー	本市Instagramにおいて、平塚学園写真部が高校生の視点で本市の魅力を発信することで、若年層のフォロワーが5倍以上増加した。また、県内初の取組としてメディアからも注目されたほか、部活動の充実など多くの効果があった。
健康課	電子申請へ変更(産前・産後ヘルパー・妊婦タクシー)	郵送で受け付けていた申請を電子申請に変更することで、データ入力作業など事務作業の大幅な削減につながった。また、申請者側にとっても郵送代金の負担がなくなり、簡易的で利用しやすくなった。

## ◆改善5級 323件(ピカ⑩イチ賞10件含む。)

※ピカ⑩イチ賞とは、各課からピカイチ改善として推薦された業務改善報告の中から、庁内アンケート11位以下の報告者を対象に、厳正な抽選により10件抽出し、褒賞対象とするものです。

### 5 業務改善 課・部別提出状況

<課別順位>

単位:件

順位	課名	件数
1	保険年金課	54
2	事業課	48
3	病院総務課	30
4	情報指令課	26
5	広報課	18
6	災害対策課	17
7	青少年課	14
8	健康課	11
9	教育総務課	10
10	産業振興課、地域包括ケア推進課	9
12	資産経営課、こども家庭課	8
14	介護保険課、収集業務課	7
16	保育課	5

17	契約検査課、市民課、都市整備課	4
20	デジタル推進課、警備第三課	3
22	固定資産税課、障がい福祉課、交通政策課、建築住宅課、下水道経営課、選挙管理委員会事務局、監査委員事務局、農業委員会事務局、スポーツ課、中央図書館、警備第二課	2
33	秘書課、行政総務課、納税課、農水産課、環境保全課、建築指導課、土木総務課、道路管理課、会計課、博物館、消防救急課、警備第一課	1
45	危機管理課、企画政策課、財政課、マイナンバー推進課、職員課、庁舎管理課、市民税課、商業観光課、協働推進課、市民情報・相談課、文化・交流課、人権男女・共同企画課、福祉総務課、高齢福祉課、生活福祉課、環境政策課、環境施設課、まちづくり政策課、開発審査課、みどり公園・水辺課、総合公園課、道路整備課、下水道整備課、議会局、教育委施設課、学校給食課、学務課、教職員課、教育指導課、教育研究所、子ども教育相談センター、社会教育課、中央公民館、美術館、消防総務課、予防課、管理担当、経営企画課、医事課	0

<部別順位>

単位：件

順位	部名	件数
1	健康・こども部	92
2	公営事業部	48
3	市長室	36
4	消防本部・消防署	33
5	病院事務局	30
6	福祉部	18
7	企画政策部	11
8	産業振興部、教育総務部	10
10	総務部、環境部	8
12	都市整備部	6
13	社会教育部	5
14	市民部、土木部	4
16	まちづくり政策部	3
17	選挙管理委員会事務局、監査委員事務局、農業委員会事務局	2
20	会計課	1
21	議会局、学校教育部	0

以上